

議会だより 上野原市

第37号

平成26年4月25日発行

市民と議会を結ぶ架け橋



元気いっぱい新学期始まる

3月定例会



主 な 記 事	■ 第1回臨時会・第1回定例会……………P2～P3
	■ 第1回定例会議決結果等一覧表……………P4
	■ 閉会中の委員会活動……………P5
	■ 委員会の審査……………P6～P7
	■ 委員会構成が変わりました……………P7
	■ 予算特別委員会の審査……………P8
	■ 市政一般に関する質問……………P9～P14
	■ 市社会福祉協議会へ寄付……………P15
	■ 平成25年度議長交際費支出状況……………P15
	■ 定例会日程のお知らせ……………P15
	■ 市民の声・議会活動・あとがき……………P16

関連補正総額 2億3千5百万円に及び!

平成26年2月18日、第1回臨時会を開催し、議案2件を審議しました。

第1回臨時会

平成25年度上野原市一般会計補正予算(第5号)

2月の大雪による除雪費用に対応し、歳入歳出にそれぞれ35,422千円を追加し、歳入歳出予算の総額を13,120,980千円と定めたものです。

歳入 地方交付税 35,422千円 **歳出** 35,422千円(農林水産業費1,530千円・土木費33,892千円)

仮称・新巖保育所建設工事請負変更契約締結について

- ①遊具設置 当初は既存の遊具を移設・修理して使用する予定でしたが、安定・安全を図るため上野原市産材を使用し、滑り台、2連ブランコ、2連鉄棒を設置する。
- ②舗装構成 事業用地内の法定外公共物について、保育所用地南側に付替えを行いました。構内道路の舗装構成を一般的な市道に用いる道路の舗装厚に変更。
- ③内装工事 園児の生活にやさしい環境づくりのため、会議室・多目的室等は標準的な「木こぼし床下地」の設計から「置き床下地」へ、断熱材をグラスウールからロックウールに変更。

平成26年第1回臨時会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対● ※杉本公文議長を除く)

種別	案件名	氏家隆信	久嶋成美	東山洋昭	村上信行	小俣修	小俣宏之	川島秀夫	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	久嶋博道	服部光雄	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
予算	平成25年度上野原市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
契約	(仮称)新巖保育所建設工事請負変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

平成26年度予算を可決

総額 182億8,653万円

一般会計 112億5,026万5千円(※前年比 5.5%減額)
 特別会計 70億3,626万5千円(※前年比 4.7%増額)

※前年度当初予算は経常経費中心の骨格予算であったため、政策的予算を計上した6月補正後の本格予算と比較しています。

第1回定例会

平成二十六年第一回定例会は、三月六日から二十八日までの二十三日間の会期で開催され、条例制定や二十六年年度予算及び二十五年年度補正予算など市長提出議案五十六件に加え、議員提出議案一件を審査しました。

議決結果については四ページ、主な条例改正については、六ページの各委員会の審査をご参照ください。

人事案件

市固定資産評価審査委員会委員の選任(同意)

※順不同

須藤 君夫氏
 梶原 正明氏
 守屋 忠文氏

市教育委員会委員の任命(同意)

山下 浩子氏

大雪被害

平成二十六年 一般会計 主な予算

【総務費】

市議会選挙費（市議会議員選挙に係る経費）— 四千三百六十二万二千元。

電算管理費（番号制度導入システム整備事業）— 四千七百二十四千円。情報通信基盤整備事業（情報通信基盤維持等に要する経費）— 五千二百八十五万四千円。

【民生費】

臨時福祉給付金給付事業費（市・県民税非課税者への臨時福祉給付金給付事業に係る経費）— 五千九百五十四万円。仮称・総合福祉保健センター事業費（総合福祉保健センター整備に係る基本設計・地質調査等）— 三千百十三万。仮称・上野原保育所整備事業（保育所整備に係る設計業務及び用地費等）— 二億九千二百八十八万七千円。児童福祉総務費（安心子ども基金保育所緊急整備事業補助金—上野原学園）— 二千六百万円。子育て世帯臨時特別給付金給付事業（子育て世帯臨時特別給付金給付事業に係る経費）— 二千

四百九十三万二千元。生活保護扶助費（被保護者の実経費に当たる経費）— 一億一千八十五万二千円。障害福祉事業費（重度心身障害者医療費助成事業・自立支援医療給付事業等）— 一億八千九百八十四万。自立支援給付費（障害福祉サービス扶助費・障害者補装具交付・相談支援等）— 三億二十三万円。

【衛生費】

塵芥処理費（ごみ焼却施設運営及び維持管理業務等）— 三億七百六十四万六千。し尿処理費（し尿処理施設運営及び維持管理業務等）— 五千九百五十四万二千元。

【農林水産業費】

都市農村共生・対流総合対策交付金事業（鶴川流域活性化協議会に対する国補助金を活用した支援事業）— 八百七十九万。中山間地域総合整備事業（山梨県営中山間

地域総合整備事業負担金— 四千七百五十万円。

【商工費】

観光費（諏訪地区公衆トイレ新設整備）— 一千四百十万円。秋山温泉管理費（秋山温泉維持管理費）— 一千八百九十六万二千元。

【土木費】

辺地対策事業費（市道改良事業—古沢安寺沢線・田和腰掛線・小伏線・和見線・中野栗谷板崎線）— 一億三千一萬一千元。社会資本整備総合交付金事業（市道八ッ沢大柵線改良事業）— 一億一千八百二万円。上野原駅周辺整備事業費（詳細設計・用地購入費・建物等補償費等）— 一億九千九百八十九万一千円。上野原市バリアフリー計画策定事業（上野原市バリアフリー基本構想検討業務・JR四方津駅調査検討業務負担金等）— 八百四十七万九千円。

【教育費】

スクールバス運営費（運転業務委託料等）— 一億七百五十七万七千円。小学校維持管理費（上野原小学校体育館太陽光発電設備整備）— 二千三百二十二万。旧小学校管理費（旧大鶴小学校校舎・プール解体）— 三千百万円。学校給食費（四方津調理場・上野原小調理場・秋山給食センター維持管理運営費）— 一億一千九百六十二万五千円。社会体育総務費（市営運動施設維持管理・スポーツ団体への活動支援等）— 二千七百七十三万円。

【消防費】

消防署消防ポンプ自動車購入費（桐原出張所ポンプ車更新）— 三千三百万円。消防団詰所建設事業費（桐原分団第八部詰所建設設計業務）— 二千万円。消防庁舎建設事業（消防庁舎建設管理業務・工事費等）— 四億三千二百四万一千円。



3日間停滞した上野原IC

平成26年第1回定例会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対●
賛成討論者◎ 反対討論者◎)

種別	案件名	付託委員会	氏家隆信	久嶋成美	東山洋昭	村上信行	小侯修	小侯宏之	川島秀夫	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	久島博道	服部光雄	岡部幸喜	尾形重貞	審議結果		
条例制定・改廃	上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について	総務																			原案可決	
	上野原市旅費等の特例に関する条例制定について																					
	上野原市職員給与条例の一部を改正する条例制定について																					
	上野原市公告式条例及び上野原市役所及び出張所設置条例の一部を改正する条例制定について																					
	上野原市中央防災公園条例制定について																					
	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について																					
	上野原市行政財産使用料条例の一部を改正する条例制定について	総務																				
	上野原市税条例の一部を改正する条例制定について																					
	上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生																				
	上野原市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例制定について																					
	上野原市保育所条例の一部を改正する条例制定について																					
	上野原市生活習慣病予防対策事業費負担金徴収条例の一部を改正する条例制定について	建設経済																				
	上野原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について																					
	上野原市道路占用料徴収条例及び上野原市法定外公共物の管理、占用及び採取に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務																				
	上野原市下水道事業受益者負担金等に関する条例の一部を改正する条例制定について																					
	上野原市消防長及び消防署長の資格を定める条例制定について	文教厚生																				
	上野原市手数料条例の一部を改正する条例制定について																					
	上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定について																					
上野原市学校施設及び公民館使用に関する使用料条例及び上野原市営運動施設条例の一部を改正する条例制定について																						
平成25年度補正予算																						
上野原市一般会計補正予算(第6号)	原案可決																					
上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)																						
上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																						
上野原市介護保険特別会計補正予算(第3号)																						
上野原市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)																						
上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)																						
上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)																						
上野原市島田財産区特別会計補正予算(第1号)																						
上野原市病院事業会計補正予算(第3号)																						
上野原市一般会計補正予算(第7号)																						
上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)																						
平成26年度当初予算																						
上野原市一般会計予算	原案可決																					
上野原市国民健康保険特別会計予算																						
上野原市後期高齢者医療特別会計予算																						
上野原市介護保険特別会計予算																						
上野原市介護サービス事業特別会計予算																						
上野原市公共下水道事業特別会計予算																						
上野原市簡易水道事業特別会計予算																						
上野原市教育奨励資金特別会計予算																						
上野原市大目財産区特別会計予算																						
上野原市甲東財産区特別会計予算																						
上野原市麻財産区特別会計予算																						
上野原市島田財産区特別会計予算																						
上野原市上野原財産区特別会計予算																						
上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算																						
上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算																						
上野原市秋山財産区特別会計予算																						
上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算																						
上野原市病院事業会計予算																						
その他																						
上野原市西原辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	建設経済																					
上野原市沢渡辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について																						
上野原市道路線の認定について	総務																					
都留市・大月市・上野原市消防指令事務協議会規約の変更に関する協議について																						
人事																						
上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	同意																					
上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について																						
上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について																						
上野原市教育委員会委員の任命の同意について																						
発議																						
上野原市議会議員の旅費の特例に関する条例制定について																						

～閉会中の委員会活動～ 総務常任委員会

行政視察「防災対策の取り組み状況」
場所 愛知県岡崎市

防災犯会長五十人に対しては衛星携帯電話を貸与。さらに、コミュニティFM局との「災害時の放送に関する協定」による防災ラジオの整備。

その他にも、携帯電話会社と契約したエリアメールの配信。

水位計・浸水計と連動した市独自の警報装置の設置。

また、人的・物的被害を最小限にするために、風水害編と地震編で構成された「岡崎市防災マップ」の発行や、気づきマップ・逃げどきマップ・浸水深マップの三種

一月二十日、総務部危機管理監及び防災担当職員に同行を求め、先進的に取り組まれている岡崎市の視察を行いました。岡崎市は、平成二十年八月末の豪雨被害を教訓にあらゆる角度から調査検証を行い、画期的な取り組みがされておりました。

情報の伝達・収集体制への取組については、町内会と災害対策本部とのパイプ役として各小学校区に一人の地域防災連絡員を配置。また、学区防

き、防災に関する出前講座を行うなど、日ごろから市民に対し十分な周知活動が行われており、防災対策の意識の高さに大変感銘を受けました。

今回の視察調査の結果を十分参考にして、職員の防災意識の向上はもとより、市民の災害に対する心構え、意識を高められるような情報提供の充実を図るなど、当局には今後一層の防災対策の強化を要望しました。

防災マップづくり支援事業を導入し、各町内会で独自のマップ作成も進めていました。さらには、担当者が各地に出向

類のマップからなる「岡崎市水害対策対応ガイドブック」の作成。



防災展示コーナーで説明を受ける委員

～閉会中の委員会活動～ 建設経済常任委員会

行政視察「特産品と地域産業振興」
場所 栃木県那須塩原市

域外への販路開拓などに取り組むことで雇用や所得を確保し地域活性化と振興を図っておりました。

地産地消の推進に向けた取り組みとして、農畜産物を使用したアイデア

レシピ創作を小学生から募集し、その優秀レシピを地産地消に活用する取り組み。また、地域資源を活用した商品開発として、県立高校にレシピの提案を依頼し、最優秀となった作品に専門家パティシエの監修を加え、「那須塩原スイーツ」を開発されました。

現在、市内の十店舗で、オリジナルアレンジされた「那須塩原スイーツ」が販売されており、商品のパッケージやのぼり旗のデザインについては、別の高校の生徒が担当し作成するなど、行政と学校と商店が連携した産学官

二月六日、建設経済部経済課の担当職員の同行を求め、先進的な取り組みを行っている栃木県那須塩原市の視察を行いました。那須塩原市では、国が提唱する農工商連携事業に「観光業」を加え「農・観・商・工の連携」による地域経済の活性化を目指す、「農観商工連携推進事業」に取り組まれております。地域産品の地産地消拡大や地域ブランド化、新たな付加価値のある商品開発、さらには地

連携の取り組みが行われ、多くの関係者や関係機関が係わったことで、関心が高まり好評となり、売り上げも順調とのことでありました。

那須塩原市では、様々な職種や企業、そして地域を挙げて市民と一体となった事業を推進し、少ない予算で効果的な特徴ある取り組みで地域活性化を図っていました。

当局には、視察調査の内容を参考に、今後の地域活性化策を一層推進するよう要望しました。



農観商工連携推進事業の説明を受ける

委員会の審査 総務

委員からは、防災公園の機能や使用方法など広く市民に周知すべきとの意見が出されました。

■上野原市国民健康保険条例の一部を改正する条例備

国民健康保険税率の見直しは、資産割を十二%

付託された案件は、条例制定が十件、都留市・大月市・上野原市消防指令事務協議会規約の変更に関する協議、合わせて十一件でした。

主な条例制定

■上野原市中央防災公園条例

市民の交流促進及び健康増進、防災機能を備えた拠点として、旧町役場跡地に整備した中央防災公園の管理規定などを定めるための条例制定です。



整備された中央防災公園

るとのことでした。

委員からは、資産割については、二重課税とも言え、収入が見込めない高齢者世帯にとつては厳しく、今後高齢化社会が一層進展する状況の中、資産割課税は、更に見直すべきとの意見が出されました。

国保税の税率改正は、市民生活に大きな影響を与えることから、市民に対し説明会を開催すること。また、医療給付費の増大が国保運営を圧迫している要因でもあることから、各種検診を充実させるなど医療給付費の軽減対策を講じ、国保運営の健全化を図るよう委員会として強く要望しました。

●当局提出十一案件については、採決の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査 文教厚生

■上野原市生活習慣病予防対策事業費負担金徴収条例の一部を改正する条例

成人期の二十一歳と壮年期の四十一歳を対象に、がん検診の無料化を拡充するための条例改正です。

付託された案件は、条例制定四件でした。

主な条例制定

■上野原市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例

重度心身障害者医療費助成制度を窓口無料方式から一旦窓口で医療費を支払う自動還付方式に移行することに伴い、条例を改正するもので、県内一斉に改められました。委員からは、対象者に対し十分な周知を行うよう意見が出されました。



検診の風景

どおり可決すべきものと決しました。

所管事務調査

■地域公共交通について

昨年十月からのデマンドタクシー本格運行の状況を調査しました。

委員からは、利用者のニーズを的確に捉え、よりよい運行計画を要望する意見がありました。

また、スクールバスの目的外使用の可否を求める意見について、教育委員会の説明では、バスの購入にあたり、国庫補助金や辺地対策債、合併特別債などを活用しているため、それぞれ異なった規制が適用されること。しかし今後加速する少子化により、将来的には目的外使用も想定し、今後調査していきたいとのことでした。

委員会の審査 建設経済

付託された案件は、条例の一部を改正する条例制定三件、市道路線の認定一件の、合計四件でした。

条例制定

■上野原市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定

近年、市内各地で多発している鳥獣被害に対応し、市に「鳥獣被害対策実施隊」を設置することに伴い、隊員の報酬を一千万に定めるものです。

鳥獣被害対策実施隊の設置により、市が負担する活動経費に対する特別交付税措置や、隊員については狩猟税の軽減措置、公務災害の適用、銃刀法の技能講習の免除などの優遇措置を受けることができることとした。

■上野原市道路占用料徴収条例及び上野原市法定外公共物の管理、占用及び採取に関する条例の一部を改正する条例制定

道路法、道路法施行令、消費税法及び地方税法の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

■上野原市下水道事業受益者負担金等に関する条例の一部を改正する条例制定

地方税法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、条例を改正するものです。

認定 上野原市道路線の認定

上野原駅周辺整備事業に伴い、県道新田松留線から南口駅前広場予定地までを道路整備するため、上野原市大字新田字稲千場千四百八十一番先から、千四百七十八番二先までを、上野原駅南口駅前広場線として認定するもので、これについては併せて現地確認を行いました。



上野原駅南口駅前広場線の現地調査

●当局提出十一案件については、採決の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

委員会構成 が変わりました

議会運営委員会



杉本友栄 委員
久島博道 委員
尾形重寅 委員
服部光雄 副委員長
鷹取偉一 委員長
岡部幸喜 委員

総務常任委員会



杉本公文 委員
鷹取偉一 委員
川島秀夫 委員
氏家隆信 副委員長
杉本友栄 委員長
尾形重寅 委員

建設経済常任委員会



小侯宏之 委員
山口好昭 委員
尾形幸召 委員
久嶋成美 副委員長
長田喜巳夫 委員長
服部光雄 委員

文教厚生常任委員会



小侯修 委員
久島博道 副委員長
東山洋昭 委員
岡部幸喜 委員長
村上信行 委員
田中英明 委員

議会だより編集常任委員会

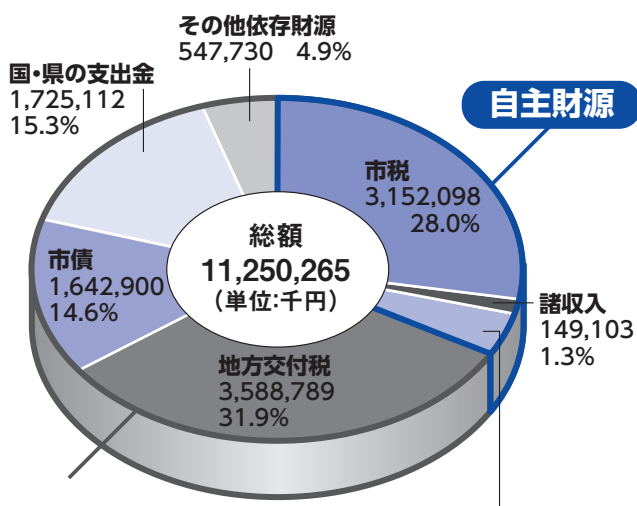


氏家隆信 委員
小侯修 副委員長
長田喜巳夫 委員
村上信行 委員長
杉本友栄 委員
久嶋成美 委員

委員会の審査 予算特別委員会

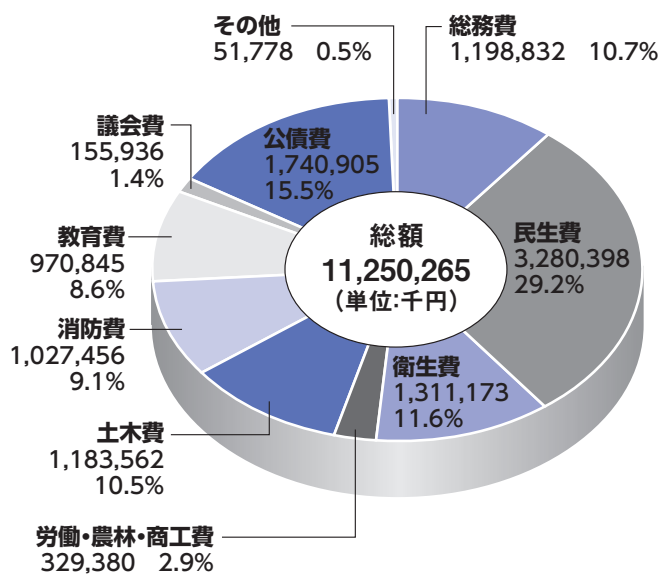
平成26年度一般会計予算のすがた

一般会計歳入状況



依存財源

一般会計歳出状況



主な意見と総括

● 臨時福祉給付金給付事業費交付金の給付事務にあたり個人情報取り扱いにより対象者の把握に苦慮されるようですが、関係課の連携を密にし、適

平成二十六年当初予算十八件について三月十九日、二十日、二十四日及び二十五日の四日間にわたり審査した結果、いずれも異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計、特別会計合わせて、歳入歳出それぞれ、百八十二億八千六百五十三万円となりました。

平成二十五年当初予算は経常経費中心の骨格予算であったため、政策的予算を計上した六月補正後の本格予算と比較すると三億三千八百三十六万四千元、率にして一・八%の減額となりました。

- 切に対応すること。
 - コミュニティー助成事業については、特定の防災会が、発電機、灯光器、防災倉庫など防災資機材の整備に係る補助金を受けけるため市を通し県に申請しているが、全地区に対し制度の内容を周知するなど公平な取り扱いを図るべきである。
 - 新たな職員駐車場の整備については、必要性など明確な根拠を示すなど予め説明すべきであった。また、駐車場利用者の使用料については、他市の状況などを鑑み適切な額に改正すべきである。
 - 航空写真撮影業務については、税務課において課税資料とするため委託業務しているが、高額であるため、各課連携し有効活用を図るべきである。
 - 観光の振興を図る上では、観光客の入込数や指定管理施設の収支状況などを分析し、よりよい施策を講ずるべきである。
 - 農業振興費については、流域や地域ごとにバランスのとれた事業を推進するとともに、市全体の振興策も検討すべきである。
 - 集会所やトイレは設置時の事業内容により、管理が各課に及んでいるが、統一的な維持管理について検討する必要がある。
 - 駅周辺整備事業については、市民に利便性のある施設を集中させ活性化を図るべきである。
 - 消防団員関係や学校の防災備品など計画的に配備する必要がある。
- その他、新消防庁舎、スマートインターチェンジ、市道の維持管理、情報通信基盤整備事業など多くの意見が出されました。
- 市当局には、行政ニーズに的確に対応しながら、自主財源の確保や経費の合理化・効率化を図り、引き続き健全な財政運営に努めるよう要望しました。



山口好昭 議員

大雪に対する危機管理と
地域防災計画の見直し
について

質問 二月十四日の大雪
に対する当市の初動体制
と危機管理は。

答弁危機管理担当課長

十四日午前十時に甲府地
方気象台から当市を含む
県内全域に大雪警報が発
表され、これを受けて午
後二時に災害本部員を招
集二月八日の大雪の状況
報告と今後の対策につい
て協議しました。夜半か
ら翌十五日にかけて大
雪が予想されたので七人
が一晩中、市役所で待機
し翌十五日、九時に防災
メールにより職員六十五
人が参集、午前十一時に
第一回災害対策本部員会
議を開き大雪に対する対
策を協議しました。

質問 初動体制は迅速に
行動を起こしたと高く評
価しますが大雪に対する
除雪マニュアルは。

答弁建設経済部長 市道
の除雪作業を委託し仕様

書に於いては対象路線ま
たは、除雪手順を定めて
おり十四日の昼前後に積
雪が10cmを超えた時点で
市内の委託業者に確認、
指示を出しております。

質問 市道除雪路線と総
延長は。

答弁建設経済部長 二百
十路線で百五十五kmです。

質問 二十五年度の除雪
費の総額見込みは。

答弁建設経済部長 例年
の除雪費は五百万円です。

質問 大雪の教訓を生か
した地域防災計画の見直
しは。

答弁危機管理担当課長

大雪に關しましては、現
在

在一ページに満たない記
載しか書かれておりませ
んが、今回の大雪の状況
が発生しましたので大雪
対策の加除訂正を加えた
いと考えます。

質問 市長は防災を最優
先課題として市民の安心
安全に努めたいと所信表
明しましたが考えを。

答弁市長 現在温暖化が
日に日に上昇してその関
係で様々な現象今回の大
雪の現象などに起因して
これから百年に一度と
いうことが起こり得る可
能性があります。今回は、
市民の生命を守るため対
策本部会議をいち早く立
ち上げ対策をとりました
が、国、県との連携が不
十分な為に除雪作業が遅
れたことを踏まえて今後
国、県との連携を十分と
る中で市独自の除雪マニ
ュアルを地域防災計画に
追加していきたい。そし
て市民の生命を守る為に
職員一丸となって頑張っ
ていきたいと考えます。

今回の大雪災害

質問 今回の百二十年ぶ
りという大雪に際し、市
の職員は腰だめの感は
あったもののよく頑張っ
たとほめてあげたい。そ
のうえで当局に対応の反
省点を伺いたい。

答弁総務部長 現在各部
で反省点をまとめている
段階ですが、分っている
処からご報告します。

質問 今回の大雪災害に
対策本部員会議を開き
協議しましたが余りの大
雪に十五日朝の出勤に手
間どりました。遠くの職
員は十四日夜泊り込ませ
るべきでした。

答弁福祉保健部長 十四
日夜はJR列車の乗客等
の帰宅困難者のための緊
急避難所設置と炊き出し
や、透析患者の輸送など
に地域の方々の積極的ご
協力をいただきあらため
て地域との連携の重要性
を認識しました。

質問 昨年の不法売却
問題が、今年も土地の不法
売却問題があった。

答弁建設経済部長 市民
から市内の道路状況・除



服部光雄 議員

その他質問
◆消防と通信

雪状況についてのお問合
せの電話が多数ありまし
たが、市の機械力が不足
し、また関係各機関の見
通しが立たない中で市民
への情報発信が不足しま
した。

質問 消防長 人命にかか
る救急輸送を確保する
ため消防隊と救急隊を連
携出動させましたが、今
後は非番者等の人員確保
策をさらに検討していき
ます。

質問 教育長 今回の大雪
災害から学校職員の一定
数は地元の者をもって充
てる必要があると痛感し
ました。

意見 今回の大雪災害に
ついては以前服部が市に
提出した災害対策に關す
る提案があり、今一度読
み直せば、殆んど全てが
分る筈である。

質問 土地不法売却問題
昨年狐原と西原六
藤の二ヶ所で土地の不法
売却問題があった。

答弁建設経済部長 市民
から市内の道路状況・除

雪特別委員会委員長とし
て昨年九月定例会で報告
したが、その最後の処で
次のようにいつている。
「市長は今回の事件につ
いて(よく調査して厳正
な措置をとる)と明言さ
れています。委員会では
(今回の事件を通して職
員の気風一新を図るべ
く、市長の厳正な処置を
望む)という声が多く出
ています。市長が職員の
任命権者として、また組
織の長としてどのような
措置をとられるのか、全
市民が結果を注目してい
るといっても過言ではあ
りません。」

この調査中新らたに分
った西原六藤の土地問題
についても今回売却価格
と同額で買い戻すことで
結末がついたことからど
う結着をつけられるのか。

質問 市長 西原六藤の土
地買い戻しの手続が完了
したうえで市長としての
意志を表明させていただ
きます。

服部は狐原土地問題調



東山 洋昭 議員

その他質問

- ◆上野原高校生による「市が活性化するための提言」について
- ◆今回の大雪について

市長の医師会費公費負担とその後の住民監査請求及び監査意見等について
質問 医師会費の公費負担については、市はどのような根拠又は判断のもと公費で支出することとしたのか。
答弁 長寿健康課長 法令等に基づき、市議会で議決を受けた支出と考えています。
質問 この公費負担は昨年九月の補正予算に上程され、当局案に賛成する議員が九名、反対する議員が七名で原案のとおり議決、可決されました。しかし十二月十三日に市民より今回の市長の医師会費の公費負担は職務に関連のない公費への支出であり、公金から捻出することは明らかに違法、不当であるとの住民監査請求が監査委員宛提出されました。監査委員は公平な立場で、請求人の市民の方と市当局より話を聞き、証拠書類等の

提出を受け、最終的な判断を行って、公式な監査結果を一月二十九日に出しています。しかし市長は監査結果が出る前に自分で支払ったが。
答弁 市長 九月の議会での議決、これは非常に重く受け止めております。公費で払うことに対しては、現在も間違っているとは思っていません。市民から監査請求があり、この問題が市民の不要な混乱を招く可能性や、将来裁判までなる可能性もあり、職員には無駄な時間をそちらの方ではなく、市の山積する課題に向けていただきたいと考え、政治的な判断で自費として支払いました。
意見 では、議会の議決は何なんですか。住民監査が出たとしても、市として間違えてないのであれば、なぜ裁判まで持ったのかなかったのか。
質問 今回の公費負担については、賛成討論や反

対討論があった中で、結果として議会の総意として市長の医師会費公費負担を認めただけです。ところが、突然執行した予算を戻して自費負担を行って何の説明もないが。
答弁 市長 公費負担は、市議会の議決を受けた適正な支出と考えています。議会に対して、報告・説明すべきかというところ、この問題で議事を開くというの、私としては考えていませんのでご理解いただきたいと思います。同時に議会で決まったことに対しては私の高度な、又総合的な判断の中で変えました。
意見 議決は重いものです。議会の議決をもって正々堂々とやるべきではない。やはり議事を巻き込んでいくわけですから。議会に対しては一定の説明は必要である。今の答弁は議会に対して、本当に軽視した発言だと思います。憤りを感じます。

大雪への対処と課題について
質問 今回の大雪に当たり、国・県・市町村との連絡がうまくいかず、復旧に時間がかかったとの報道がありました。当事者としての評価は。
答弁 建設経済部長 今回の記録的大雪に当たり、市民の皆様のご支援・ご協力に感謝すると共に、寝食を忘れるほど過酷な条件のもと精力的に除雪活動に携わった業者の皆さんにも感謝を申し上げます。
質問 市道に限って言えば、県道を優先し、市道の方へ手が回らない事態でした。今後どのような対策を考えていますか。
答弁 建設経済部長 市道路線の除雪業者二十五業者中、十二業者が県道も請け負っています。そのため県道が優先的に除雪されました。今後、市道路線の業者選定に当り、除雪能力等を考慮し、対



小俣 修 議員

その他質問

- ◆地震対策について

象業者数の増加確保等を検討し対応致します。
質問 現在の委託業者はホイールローダーを持つ業者だけと思いますが、緊急時他の重機を持つ水道業者等も指定し、総動員でやるべきと考えますが。
答弁 建設経済部長 今回の除雪対応は、総動員という形で対応しました。今後いろいろな基準を考えた機械を中心とした除雪対応を検討します。
質問 上野原市では雪の捨て場の指定はあるか。
答弁 建設経済部長 今迄雪の捨て場、置き場の指定は考えていなかったが雪置き場の確保に付て、関係機関と事前に協議調整の必要があると考えています。
質問 昨年九月議会で議決した市長の医師会費公費負担について十二月十三日住民監査請求があったが一月十五日議会で諮らず自己負担した法的根

拠は。
答弁 市長 明確な答弁無し。
質問 企業等に於いては、法令に反した場合責任の明確化が厳しくなっています。今回の不祥事を含め、三件の重大な事案が発生しています。市長みずから責任を明確にすべきと考えますが。
答弁 市長 西原六藤分校の支払い完了後、責任を明確にします。
上野原駅周辺整備事業について
質問 時間貸し駐車場整備工事費が二十五年度補正予算に計上されましたが、工事の始まりと共用開始はいつ頃になるか。
答弁 都市計画課長 約三十台程度の時間貸し駐車場を社会実験として計画しています。日程は、三月中旬に工事発注を行い、今年六月ごろ共用開始を目指しています。設置期間は約二年程度を予定しています。



川島秀夫 議員

大雪被災対応について

質問 被災された方々へ、お見舞い申し上げます。災害対策に十分はない。「自然災害は人智を超え。万能はない」という事を知る必要がある。今回の大雪は、予期せぬ事態に直面し判断する力が求められた格好のテーマであった。どのような対応をしたか。

答弁 危機管理担当課長

災害対策本部を設置し、職員泊り込みで除雪孤立化住宅対策初めインフラ確保に万全を尽くしました。食料確保飲料水など備蓄食品による対応等ライフレイン確保に全力を投入しました。

質問 市との除雪協定以外の方が自前の重機を活用して、除雪に協力した方々があった。地域の皆様からは大変感謝されているが、それら協力いただいた方への対応は考えているか。

答弁 建設経済部長 各地

区でのご協力に感謝しています。ご協力頂いた方々には、各区長さんに把握いただき燃料代そのほかを申請いただきお応えすることとしています。

質問 市全体の被災状況を、どのように把握しているのか。

答弁 危機管理担当課長 市民の皆様、区長、民生委員などからの情報を対策本部に集約して、職員の情報を共有化して対策策定に資した。今後のリスクマネジメントに活かしていきます。

答弁 税務課長 被災・罹

災証明発行のための申請があったものについては、独自の調査を行いました。この情報も対策本部と連携し、共有化しました。

質問 七地区で孤立化集

落が発生したと報告があったが、状況把握はどのように行われたか。

答弁 危機管理担当課長

市内五十八世帯百二十一人が孤立化し、全てが解

消されたのは二十一日で発生から一週間でした。

和見地区は停電もあり現地対策本部を設置、千足地区には食料補給に市職員が徒歩で入り補給、西原地区は断水のため水の補給等解消のため全力を注ぎました。地区区長、民生委員方の協力を得て孤立化解消に努めました。

答弁 福祉保健部長 要支

援登録者に対しては、いち早く安否確認を行いました。食料や病状など速やかな対応を行いました。その他各地区の民生委員に、地域の関係者の安否確認をお願いしました。病気や透析患者さんについては、救急車の通行に地域の皆様の雪掻き協力など多くの善意のお蔭で無事対応が出来ました。改めて地域の皆様の協力に感謝しています。

消防団について

質問 近年、消防団員の確保について非常に難しくなっているが原因はどこにあるか。

答弁 消防総務課長 消防

団員の確保については、各メディアの活用や新入団員推進ポスター等の掲示を行い、団員もみずから加入推進を呼びかけています。しかし、雇用体系の変化や少子高齢化、人口の減少の問題等で、市の消防団条約定数の九百七十二名を確保するには厳しい状況です。

二十年十二月に基本団員と支援団員体制を条例改正し、団員確保に努めます。実員は、二十一年度が九百二十五名、二十二年度が九百二十七名、二十三年度は九百十九名、二十四年度が九百二十五名、二十五年年度は九百十八名とほぼ横ばいですが、主力の消防団員の年齢が四十代から五十代が大體六割強と、平均



氏家隆信 議員

その他質問

◆少しでも稼げる自治体

年齢も年々上がっている状況です。

質問 企業に勤める団員が有事のときに出動できないという事例があるが取り組みは。

答弁 消防総務課長 本年

度、サラリーマンという消防団員の方が八割以上です。その消防団員も、市外に勤務している団員が多くなっているのが現状です。上野原市消防団協理事業所表示制度実施要綱を十九年二月七日制定して、現在、三事業所に協力を頂いています。市内の事業所に対して表示制度を広く呼びかけていきます。

質問 市の職員の中に、消防団員は何人くらい所属しているか。

答弁 消防総務課長 当市

役所職員については、新規採用職員に市長がみずから入団の促進をして、現在四十六名が団員として活動しています。

大豪雪による雪害から学

ぶ今後の対応複合災害について

質問 複合災害について、今回の積雪百四cm、例えば、震度四の地震で家が揺れたときに、大屋根から落下した雪は、数百kgから一t位の破壊力があるという実験データも出ていますが。

答弁 危機管理担当課長

東日本大震災のときに複合災害という言葉が出てきたようです。地域防災計画の見直しをしています。積雪の時に地震が来たという想定はありませんでしたが、考えながら対応していくことが必要と考えています。

意見 複合災害というのは起こり得ます。想定外を想定するという事が必要です。今回雪害に対してボランティアで、重機を出してくださった方に感謝状を贈る事も考えて頂きたい。



小俣宏之 議員

その他質問

- ◆鳥獣対策について
- ◆談合坂スマートインターチェンジについて
- ◆消防庁舎建設と交差点計画について
- ◆四方津駅バリアフリー構想について

大雪の災害対策について

質問 大雪で被災された方々から撤去費用や再建費用等、申請が出されているはずだが、事務処理のスピードが必要であるが。

答弁 経済課長 被害の中で農業用施設について現在、国、県の支援策等が打ち出されつつあります。対処すべく今、枠組みの段階で予算化しているところであります。

質問 雪害により崩壊した建物やカーポート等の撤去は、国庫補助が九十パーセントで実質的な市の負担は十パーセントです。これには市長が「生活環境の保全上、撤去、処分が必要」と認めれば広く対象となる。被災者のためにも認めるべきでは。

答弁 生活環境課長 県でその説明会があり、市の対応で補助があるということですが、被害の状況も様々でそれに合う対応を協議しているところですが、当面の対策としてカーポート等の処理は、クリーンセンターが無料で引き取っております。補助を使う場合、どの様な方法が有るのか全体を調査する中で対応を協議中です。

質問 市道は市、県道は県、国道は国で、という協定が除雪作業の遅れを招いているのでは。

答弁 建設経済部長 各道路はそれぞれの道路管理者が責任を持って維持管理するのが大原則です。今後は連携等も含めて各道路管理者の情報交換、他の自治体と協定等を結び、より効率的な除雪体制を検討し対応します。

質問 今回、国道は国で、という協定が除雪作業の遅れを招いているのでは。

答弁 建設経済部長 今回、除雪の進捗状況の見通しが立たない状況でしたので情報が発信できまらなかった。今後は正しい情報が確定し次第、対応していきます。

質問 大雪で運転手が困ったことはトイレだということですが、対応は。

答弁 建設経済部長 運転手さんに臨機応変に対処していただき、道路管理者が今後対応、検討していくものと考えます。

質問 今回、地区においては小型除雪機が大変な活躍をしたが、新たな購入計画に対し補助金は。

答弁 建設経済部長 現段階では考えておりませんが今後様々な連携、市民の皆さんのご協力により除雪対応ということを基本的に考えております。

質問 市道、県道、国道と分けず、市全体の道路を協定で結んでいる業者、プラスチックで除雪をする方向に改めるべきでは。

答弁 建設経済部長 現段階では考えておりませんが今後様々な連携、市民の皆さんのご協力により除雪対応ということを基本的に考えております。

質問 市道、県道、国道と分けず、市全体の道路を協定で結んでいる業者、プラスチックで除雪をする方向に改めるべきでは。

答弁 市長 消防団の機器整備は国の助成を活用、除雪の優先順位も火災発



久島博道 議員

消防団支援法

質問 ①消防団支援法では団員の処遇改善と資機材の整備を求め、地方交付税の算定額を公表している。当市消防団員の報酬、出勤手当、退職金等は他市町村と比較しても低く、対策を図る必要がある。②トランシーバー、ライフジャケット、チェインカッター、油圧ジャッキ等、装備・訓練の充実強化も支援法では示しているが、機器整備対策は。③自治体職員の入団推進について④先の大雪では、国道は不通で緊急車両は水路通を通行していたが、新消防庁舎から市街地やコア地区へ向けた緊急車両の出勤は不可能に近く、火災など有事に備え、消防署・本部と各消防団との連携強化を図ること。消火栓や消防団詰所に面した道路の除雪を優先すべきだが。

答弁 消防総務課長 団員の退職報奨金は四月以降

質問 ①消防団支援法では団員の処遇改善と資機材の整備を求め、地方交付税の算定額を公表している。当市消防団員の報酬、出勤手当、退職金等は他市町村と比較しても低く、対策を図る必要がある。②トランシーバー、ライフジャケット、チェインカッター、油圧ジャッキ等、装備・訓練の充実強化も支援法では示しているが、機器整備対策は。③自治体職員の入団推進について④先の大雪では、国道は不通で緊急車両は水路通を通行していたが、新消防庁舎から市街地やコア地区へ向けた緊急車両の出勤は不可能に近く、火災など有事に備え、消防署・本部と各消防団との連携強化を図ること。消火栓や消防団詰所に面した道路の除雪を優先すべきだが。

答弁 消防総務課長 団員の退職報奨金は四月以降

質問 ①消防団支援法では団員の処遇改善と資機材の整備を求め、地方交付税の算定額を公表している。当市消防団員の報酬、出勤手当、退職金等は他市町村と比較しても低く、対策を図る必要がある。②トランシーバー、ライフジャケット、チェインカッター、油圧ジャッキ等、装備・訓練の充実強化も支援法では示しているが、機器整備対策は。③自治体職員の入団推進について④先の大雪では、国道は不通で緊急車両は水路通を通行していたが、新消防庁舎から市街地やコア地区へ向けた緊急車両の出勤は不可能に近く、火災など有事に備え、消防署・本部と各消防団との連携強化を図ること。消火栓や消防団詰所に面した道路の除雪を優先すべきだが。

答弁 消防総務課長 団員の退職報奨金は四月以降

質問 ①国民健康保険税の賦課総額、一般会計の繰入額②呉市のレセプトによるデータヘルス計画とジェネリック医薬品使用時の差額通知事業で医療費抑制を実現、市立病院の診察待ち時間を利用し健康相談事業の実施は。



長田喜巳夫 議員

その他質問

- ◆雪害状況と今後の対応について
- ◆鳥獣害対策について

新年度予算の特徴について

質問 二十六年一般会計予算の総額は、百十二億五千二百六万円で、昨年六月補正後の予算と比較すると、五・五%、六億五千三百八十万円の減額予算となっている。

答弁 義務的経費については、人件費、扶助費、公債費などで必然的に固まる。投資的経費の継続事業と新規事業の特徴は。

答弁 企画課長 継続事業の特徴は、上野原駅周辺整備事業、中央道スマートインターチェンジ関連事業、消防庁舎建設事業、市道八ッ沢大柵線改良事業などであり、消防庁舎建設事業は、二十七年四月の供用開始に向け取り組むものです。新規事業は、上野原保育所整備事業、(仮称)総合福祉保健センター整備事業です。新年度から開所する新巖保育所については、子育て支援センターを設

置し、親子子供への支援を充実させていきます。

質問 都市計画マスタープラン策定とアンテナショップへの取り組みは。

答弁 都市計画課長 都市計画マスタープランは、昨年度末から策定協議会による議論を続けてきました。本日三月十七日からパブリックコメントを始め、意見集約を行い、最終的には、六月頃に策定して市民に公表します。

答弁 経済課長 アンテナショップについては、山梨県が取り組んでいる富士の国やまなし館を皮切りに適宜進めていきます。

上野原駅周辺整備事業について 本事業は二十一年度に設置された、上野原駅周辺整備検討委員会からスタートし、今日に至っている。現在の状況は。

答弁 都市計画課長 二十五年より駅前広場やアクセス道路に必要な約五千㎡の先行用地取得に取

り組み、今年の五月か六月には関係地権者の協力により目標の用地面積が確保できる見通しです。

この土地の一部を利用し、約三十台の時間貸し駐車場を社会実験として、六月頃より二年間設置する予定です。

自然エネルギーの活用について 環境共生都市を目指すのが当市の方向です。太陽光発電については、すでに各世帯への補助や病院への設置など取り組みがされている。有事、停電のときにも活用できるように各学校への設置が必要である。全国の公立学校では自然エネルギーの活用が進んでいる。当市の方向は。

答弁 学校教育課長 長期計画により順次取り組む予定です。二十六年に山梨県再生可能エネルギー導入推進基金事業を受け上野原小学校に太陽光発電設備を設置します。

上野原市の商工政策について



尾形幸召 議員

上野原市の商工政策について

質問 ゴルフ場利用税交付金の現状は。

答弁 企画課長 昭和四十一年に創設された娯楽施設利用税が消費税の導入に伴って課税対象施設をゴルフ場のみとし、ゴルフ場利用税と改められ、その納税額の十分の七に相当する額が市町村に対してゴルフ場利用税額として交付されます。目的は、ゴルフ場周辺の道路整備、雨水による流出土砂整理などに活用されます。交付金の決算額は二十四年度、一億一千六百二十五万千円です。十七年比四千万円減少です。

質問 ゴルフ場利用者、年間二万人の増客策は。

答弁 経済課長 ゴルフ場利用者の状況は二十四年二十四万三千人、二十五年は二十四万五千人で横ばい状況です。ゴルフ場とともに実態把握と協議を考えます。

質問 ゴルフ会社・宿泊施設・市が一体となった誘客活動の実施は。

答弁 経済課長 三者一体となった協議会等の設置を検討します。

質問 ゴルフ利用税交付金一千万円の増収は。

答弁 経済課長 ゴルフ利用者の増客によって可能ですが土日に利用客が集中、通常日の誘客が課題です。

要望 各ゴルフ場が一日十人の増客で一千万円の増収はできます。市がゴルフ会社と宿泊施設を連携したパンフレットを作成、観光とゴルフをセットで宣伝して戴きたい。

中山間地の災害政策について 大雪・雪崩・停電による孤立地区は。

答弁 危機管理担当課長 合計七集落、五十八世帯百二十一人が大雪で孤立。停電による孤立集落は四カ所六十三世帯、百六十四名でした。

質問 長期大雨、超台風、大地震等による土砂崩落での長期孤立集落は。

災害の種類は異なりますが同様に考えます。

質問 食料・燃料・常備治療薬・卓上コンロ・ボンベ懐中電灯・ラジオ等用意拡充の告知徹底は。

答弁 危機管理担当課長 一週間分の食糧の備蓄を呼びかけます。

質問 災害時の透析・救急患者等対処の有り方は。

答弁 長寿健康課長 大雪による透析患者に対して市・病院ともに努力しました。救急患者の対応は病院として反省すべき事項がありました。

答弁 市長 対応にありましては市民・患者の立場で今後、指導してまいります。

要望 大雪時深夜の救急患者に対する病院の対応は不適切、説明不足でありました。病院全職員が親切対応に心して戴きたく存じます。



久嶋成美 議員

その他質問

- ◆雪害対策について
- ◆人口減少対策について
- ◆情報基盤整備事業について

医師会会費について

質問 医師会会費の公費負担は適正な支払い、問題は無いと言いつながら、どうして自費で払うことになったのか。

答弁市長 東山議員、小俣修議員にお答えした通りです。

質問 厚生労働省の通達には、施設運営上必要とされる施設においては当該代表者の医師会費に限り国費をもって充てることのできる。とあり、又高松高等裁判所の判決によると、産婦人科医師及び病院を代表する医師を除く医師の医師会費に係る部分は、地方自治法第二条第十四項に照らし、裁量権を逸脱した違法なものというべき、とされていますが、これについてはどう思うか。

答弁市長 前に説明したとおりです。

質問 違う角度から質問しているのですが、市長には答える義務がある。

上野原市の場合は、市が病院を作り指定管理者に委託しました。管理運営は地域医療振興協会が行っています。ですから病院の代表として院長なり産婦人科医師が医師会に入るのは当然の事です。市長があえて医師会に入る必要はないと思うがいかがか。

答弁市長 費用、会費を払えば医師たれば必ず医師会に入会できます。

意見 公費ではなく私費のまま、個人負担で払っていただければこんな問題は起きなかつたはず。あえて公費で払おうとしたからこういう大きい問題になりました。不条理でしたが、多数決の原理で議会で議決し堂々と公費で払う事ができた。それを監査結果を待たずに自費で

支払った。何度聞いても不思議です。

質問 地方自治法第二百四十二条に基づいて、住民の権利として監査請求が出されました。この監査結果について、市長はどう思うか。

答弁市長 公費で出すことは問題ないと今でも思っています。

意見 あくまで正当性を主張し、監査結果も高松高裁の判決も厚労省の通達も全て江口市長には通用しない、市長がすべて正しいということですね。まるで歩く法律のように思えます。



大雪対策について

質問 ハツ沢地区においては、区長から区民へ除雪依頼や安全への注意喚起が防災無線でなされた。他にも自主防災としてどのような組織的な行動がとられた地域はあるか。

答弁危機管理担当課長 新一地区でも同様な取り組みがなされました。各地においてもそれなりの芽生えがあるのでないかと思えます。

意見 地域にあつた防災計画が必要。その指導を考えて欲しい。また、地震、津波、原発事故など複合災害対策も考えなければならぬ。

市立病院について

質問 四月に医師が何人か退職することに、市民は不安に思っている。

現在の運営委員会の状況はどうなっているか。またその内容の公開は。

答弁長寿健康課長 昨年より二回の会議が行われ、救急搬送、経営状況



村上信行 議員

その他質問

- ◆地域振興について

などの分析を行いました。当市に適した地域医療を二十六年度中にまとめます。

答弁福祉保健部長 内容の公開については、審議事項等、委員の意見をふまえて検討します。

質問 上野原小学校の給食は、十六年には山梨県表彰、十八年には文部科学大臣表彰を受け、高い評価を得ている。地元食材のさらなる活用は。

また共同調理方式の学校での食教育はどのようになっているか。

答弁学校教育課長 県の食育計画の中で地場産物の掘り起しと使用が盛り込まれています。三カ所の調理場で十一から十九品目、合計で一万百七十二kgを使用し全体の十七%となっています。今後さらに増やします。

食教育は給食だよりで地場産、旬食材、郷土料理等の紹介をすると共

に、栄養士が学校に出向き食育の授業を行ったりしています。中学生には調理場の職場体験、保護者には試食会など実施しています。

質問 アレルギー対策は。

答弁学校教育課長 保護者にアンケートを行い、個々の対応をしています。養護教員研究会が中心となって二十六年度中に市のガイドラインを作成します。

また調理場の建て替え、改修の時には、その対策を考え設計を練ります。

質問 穀物アレルギーの少ないキヌアの特産化に取り組んでいる団体がいるが、市の対応は。

答弁経済課長 成分分析や影響などを検証のため専門機関へ依頼しながら、特産化を計ります。

大雪の対応に対し、市社会福祉協議会へ寄付



2月の大雪は、市内各地に未曾有の甚大な被害をもたらしました。

市は災害救助法の適用がなされ、市議会には、全国市議会議長会及び関東市議会議長会からそれぞれ5万円、合計10万円の災害見舞金が交付されました。

見舞金の使途について、議会運営委員会及び議員全員協議会を行った結果、災害発生時におけるボランティアセンターの設置及び運営等に役立ていただくため、市の社会福祉協議会へ、その全額を寄付しました。

平成25年度議長交際費

上野原市議会では、平成25年4月から、議長交際費の支出状況を市のホームページで公開しております。

平成25年度における支出の状況は、右のとおりです。

詳細等はホームページでご覧いただけます。

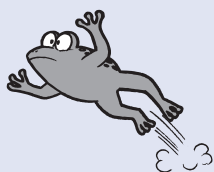
支出区分	件数	支出金額
会費	5	25,000
香典等	2	28,000
見舞金	0	0
協賛	0	0
その他	4	22,774
合計	11	75,774

※その他の支出は、委員会視察調査の際の手土産代等です。

定例会日程のお知らせ

6月定例会

- 6月 6日(金) 本会議
(議案上等等)
- 10日(火) 常任委員会
(総務)
- 11日(水) 常任委員会
(文教厚生)
- 13日(金) 常任委員会
(建設経済)
- 16日(月) 市政一般に関する質問
- 17日(火) 市政一般に関する質問
- 18日(水) 市政一般に関する質問(予備)
- 20日(金) 本会議
(議案審議等)



9月定例会

- 9月 9日(火) 本会議
(議案上等等)
- 11日(木) 常任委員会
(総務)
- 12日(金) 常任委員会
(文教厚生)
- 16日(火) 常任委員会
(建設経済)
- 17日(水) 市政一般に関する質問
- 18日(木) 市政一般に関する質問
- 19日(金) 市政一般に関する質問(予備)
- 22日(月) 決算特別委員会
- 24日(水) 決算特別委員会
- 25日(木) 決算特別委員会
- 26日(金) 決算特別委員会
(総括質疑)
- 30日(火) 本会議
(議案審議等)

12月定例会

- 11月26日(水) 本会議
(議案上等等)
- 28日(金) 常任委員会
(総務)
- 12月 2日(火) 常任委員会
(文教厚生)
- 4日(木) 常任委員会
(建設経済)
- 5日(金) 市政一般に関する質問
- 8日(月) 市政一般に関する質問
- 9日(火) 市政一般に関する質問(予備)
- 11日(木) 本会議
(議案審議等)



1月～3月 議会活動

1月

- 9日 議会だより編集常任委員会
- 12日 上野原市消防団出初式
成人式
- 16日 第8回上野原市商工会優良事業者表彰式典
会員交流及び賀詞名刺交換会の開催
議会だより編集常任委員会
- 20日 総務常任委員会視察研修（愛知県岡崎市）
- 21日 上野原市母子寡婦福祉連合新年互礼会
- 22日 租税知識と青色申告推進書道コンクール審査委員就任
のご承諾及び審査委員会
- 23日 上野原市区長会新年互礼会
- 26日 上野原市身体障害者福祉会新年互礼会
- 29日 上野原市観光協会新年互礼会
- 30日 東部広域連合議会議員研修（山梨大学付属病院内）
議会だより編集常任委員会

2月

- 5日 第96回全国市議会議長会評議員会（東京都）
- 6日 建設経済常任委員会視察研修（那須塩原市）
- 7日 議会運営委員会・全員協議会
- 12日 東部広域連合議会運営委員会
- 13日 山梨県市議会議長会議員合同研修会（後期）
- 18日 上野原市議会第1回臨時会
- 20日 第1回山梨県東部広域連合2月定例会
- 21日 第1回山梨県後期高齢者医療広域連合定例会
- 26日 山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合議会定例会
議会運営委員会
議員全員協議会
- 27日 議会運営委員会
議員全員協議会

3月

- 1日 卒業証書授与式（上野原高校・明誠高校）
- 3日 公益財団法人山梨県市町村振興協会理事会
- 6日 上野原市議会第1回定例会（開会）
- 8日 第9回上野原市社会福祉大会
- 10日 総務常任委員会
- 11日 文教厚生常任委員会
- 12日 市立中学校卒業式
- 13日 建設経済常任委員会
- 14日 市政一般に関する質問
- 15日 島田中学校閉校式
- 16日 桐原地区戦没者慰霊祭
- 17日 市政一般に関する質問
- 19日 予算特別委員会
- 20日 予算特別委員会
- 24日 議会だより編集常任委員会
- 25日 予算特別委員会総括質疑
- 26日 市営住宅入居者選考委員会
- 28日 上野原市議会第1回定例会（閉会）

市民の声



甲東地区区長会
会長 戸田 茂さん

雪害に思う

二月にあつた大雪の折、和見地区の停電及び孤立化、棚頭地区の雪崩及び孤立化の為、出張所に甲東地区現地災害対策本部を設置しました。

私は十六日から三日間出張所詰めになりました。そこでまず行ったのは、

二地区の名簿作成、安否確認、生活不足品の情報収集でした。その中でも苦労したのは、個人情報保護法により、地区住民の家族構成等の情報に一切存在しなく、名簿作りに苦慮したこと。このことにより、介護

が必要の方、透析等病院に通院しなければならぬ人、独居老人等真っ先に手助けを必要とする人達とのコンタクトがスムーズに取れなかったことです。

本来、個人を守る法律なのに、逆にあしかせになつてしまふ残念な思いをしました。



棚頭奥山地区の雪崩除去作業

実と、各地区に合った強い組織作りをしていきたいと思ひます。

議会だより編集 常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 村上 信行 |
| 副委員長 | 小俣 修 |
| 委員 | 杉本 友栄 |
| 委員 | 長田 喜巳夫 |
| 委員 | 久嶋 成美 |
| 委員 | 氏家 隆信 |

桜が咲き誇り、山には新芽が目立つようになりました。そんな中三月には島田中学校が閉校しました。東京に近く自然豊かな上野原市ですが、今若者の流出による人口減に直面しています。核家族化が進み跡継ぎまでもが家を出てしまふ都会で家庭を持ち、帰って来ない故に子供が減少してしまいました。このままでは将来小学校一校・中学校一校というような事態となるかも知れません。

若者のUターンを促し、流出を防ぐ方策を市民全体で考えようではありませんか。

あとがき

発行 / 上野原市議会 山梨県上野原市上野原 3832 番地

編集 / 上野原市議会だより編集常任委員会

TEL : 0554-62-3344(直通) FAX : 0554-62-5344

URL : <http://www.city.uenohara.yamanashi.jp>

E-mail : gikai@city.uenohara.lg.jp

印刷 / カヤマ印刷

上野原市上野原 3768

TEL 0554-63-0188